

第91回医学会総会・学術集会「一般演題」当日発表(部屋割、担当座長)

【SGL室1】 座長:長岡竜太先生

(敬称略)

2023.9.2

カテゴリー	演題番号	筆頭発表者	所属	演者	演題
B AI・画像診断	P-9	下川 一燈	1. 日本医科大学医学部医学科4年 2. 日本医科大学医学部医学科5年 3. 日本医科大学解析人体病理学 4. 日本医科大学付属病院病理部	下川 一燈1、田中 俊2、遠田 悦子3、寺崎 泰弘4、高熊 将一郎3、清水 章3、寺崎 美佳3	顕微鏡動画の即時的物体検出(real-time object detection)を用いたAI子宮内膜細胞診サポートモデル開発
B AI・画像診断	P-12	金子 諒平	日本医科大学武蔵小杉病院形成外科	金子諒平、桑原大彰、赤石諭史、小川令	AIを用いた皮膚腫瘍のダーモスコピー画像分類モデルの作成
C 薬剤	P-17	小原衣未里	日本医科大学 多摩永山病院・薬剤部	小原 衣未里、近藤 匡慶、渡辺 圭、源平 麻衣、菅谷 量俊、高瀬 久光	造血幹細胞移植患者への薬剤投与を想定した医療用注射麻薬との配合変化試験
G 血液・甲状腺・内分泌	P-62	高木 優維	1 日本医科大学医学部 5年 2 日本医科大学統御機構診断病理学	高木優維1、石野孔祐2、呉壮香2、北村妙子2、河本陽子2、手塚潔2、藤井雄文2、工藤光洋2、大橋隆治2	2-デオキシグルコースによるN型糖鎖合成の抑制は甲状腺未分化癌細胞にアポトーシスを引き起こす
K 再建	P-97	近藤 暁	1.日本医科大学付属病院形成外科・再建外科・美容外科	近藤暁1、小川令1	空腸弁の空腸動静脈の位置関係に関する検討

【SGL室2】 座長:藤田和恵先生

カテゴリー	演題番号	筆頭発表者	所属	演者	演題
E 腫瘍・免疫・遺伝子	P-28	福永 遼平	1日本医科大学 小児科	福永遼平1、植田高弘1、板橋寿和1、深澤隆治1、伊藤保彦1	ヒト脂肪由来幹細胞を用いた川崎病モデルマウス冠動脈瘤抑制効果についての血清学的、免疫染色学的検討
E 腫瘍・免疫・遺伝子	P-30	赤木 巧	日本医科大学 システム生理学	赤木 巧、荻原 郁夫、金田 誠	代謝型グルタミン酸受容体6型の細胞膜表面局在におけるN型糖鎖修飾の解析
E 腫瘍・免疫・遺伝子	P-35	西本あか奈	*1 日本医科大学武蔵小杉病院形成外科 *2 日本医科大学武蔵小杉病院皮膚科 *3 日本医科大学付属病院形成外科・再建外科・美容外科	西本あか奈*1、安齋真一*2、赤石諭史*1、小川令*3	動脈瘤線維性組織球腫(Aneurysmal fibrous histiocytoma)及びヘモジデリン沈着型皮膚線維腫(Hemosiderotic dermatofibroma)197例の臨床組織学的比較:卵が先か、鶏が先か?
I 女性・生殖・泌尿	P-74	根岸 靖幸	1.日本医科大学微生物学免疫学教室 2.日本医科大学女性診療産科	根岸靖幸1,2、井野 創1,2、堀井裕美1,2、鈴木俊治2、森田林平1	自然免疫をターゲットとした新しい早産治療戦略の検討
M 慢性創傷	P-120	庄司 真美	1.日本医科大学武蔵小杉病院形成外科 2.日本医科大学形成外科教室	庄司真美1,2、桑原大彰1,2、赤石諭史1,2、小川令2	Lumbar Sympathetic Ganglion Block Facilitates Wound Healing in a Rat Ischemic Hindquarter Model

【SGL室3】 座長:曾野部崇先生

カテゴリー	演題番号	筆頭発表者	所属	演者	演題
F 心臓・血管	P-47	太良 修平	心臓血管集中治療科、循環器内科	太良修平、山本剛、岡英一郎、塩村玲子、松田淳也、中田淳、宮地秀樹、清水渉、浅井邦也	劇症型心筋炎に対する心保護薬の予後改善効果—多施設コホート研究—
F 心臓・血管	P-49	高野 晴子	日本医科大学 先端医学研究所 病態解析学部門	高野 晴子	血管内皮細胞による肺胞の形態形成メカニズム
F 心臓・血管	P-58	沼田 大和	1) 医学部第5学年 2) 付属病院 心臓血管外科 3) 小児科	沼田大和1)、佐々木孝2)、板橋寿和3)、植田高弘3)、石井廣介2)	小児・若年成人患者における長期留置型中心静脈カテーテルの挿入と管理方法に関する研究
H 精神・神経	P-68	長谷英一郎	1) 日本医科大学 医学部、第5学年 2) 日本医科大学付属病院 脳神経内科 3) 日本医科大学 解析人体病理学	長谷英一郎1)、松本典子2)、林俊行2)、坂本悠記2)、鈴木健太郎2) 西山康裕2)、功刀しのぶ3)、木村和美2)	担癌患者の脳梗塞に関する検討
L 瘢痕・ケロイド	P-105	石井 暢明	1. 日本医科大学千葉北総病院 形成外科 2. 日本医科大学形成外科教室	石井暢明1)2)、赤石諭史2)、秋元正宇1)2)、小川令2)	ケロイドの成長に伴う応力の経時的変化の有限要素法による解析

【SGL室4】 座長:梅澤裕己先生

カテゴリー	演題番号	筆頭発表者	所属	演者	演題
K 再建	P-87	Guangpeng Xia	1 Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan	Guangpeng Xia M.D.1, Teruyuki Dohi, M.D. Ph.D.1, Mohamed Abdelhakim, M.D. Ph.D.1, Mamiko Tosa, M.D. Ph.D.1, Rei Ogawa, M.D. Ph.D. F.A.C.S.1	Systemic Diseases, Genetic Disorders, and Lifestyle: Their Impact on Keloids
L 瘢痕・ケロイド	P-106	Loelita Lumintang	1 Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan 2 Department of Surgery, Faculty of Medical and Health Sciences, Warmadewa University/Sanjiwani General Hospital, Gianyar, Indonesia	Loelita Lumintang, M.D., F.I.C.S.1.2, Teruyuki Dohi, M.D., Ph.D.1, Rei Ogawa, M.D., Ph.D., F.A.C.S.1	Excellent Outcome from Non-Total Scar Removal in Adherent Abdominal Scar Revision: A Case Report
L 瘢痕・ケロイド	P-107	Whitney L. Quong	1. Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan 2. Division of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery, University of Toronto, Toronto, Canada	Whitney L. Quong1,2, and Rei Ogawa1*	Release of Contractures of Both the Anterior and Posterior Axillary Lines Using the Two Square Flaps Method
L 瘢痕・ケロイド	P-112	Long Nguyen	1 Department of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, Nippon Medical School, Tokyo, Japan 2 Department of Molecular Pathophysiology, Institute of Advanced Medical Sciences, Nippon Medical School, Tokyo, Japan	Long Nguyen, M.D.1,2, Haruko Takano, Ph.D. 2, Teruyuki Dohi, M.D., Ph.D.1, Rei Ogawa, M.D., Ph.D., F.A.C.S.1, Shigetomo Fukuhara, Ph.D. 2	Tissue clearing of human skin and scars
N 創傷治癒・メカノバイオロジー	P-123	本田 梓	1.日本医科大学 大学院 医学研究科 代謝・栄養学 2.日本医科大学 大学院 形成再建再生医学	本田 梓1,2、小池 博之1、早川 清雄1、土肥 輝之2、小川 令2、大石 由美子1	CD206陽性マクロファージは創傷治癒を制御する
N 創傷治癒・メカノバイオロジー	P-124	栄 由貴 (高田弘弥)	日本医科大学大学院形成再建再生医学分野	栄 由貴、高田 弘弥、市野瀬 志津子、小川 令	マウス尾リンパ浮腫モデルにおけるラミニンペプチドYIGSRの役割